

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 22 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26380296

研究課題名(和文) 中国における銀行ファイナンスの効率性の検証 オルタナティブ金融との比較

研究課題名(英文) Study of Efficiency of Bank finance in China: Compared with Alternative finances

研究代表者

矢野 剛 (Yano, Go)

京都大学・経済学研究科・教授

研究者番号：90314830

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：第一に、省・市レベルパネルデータを使用した計量分析は、経済的先進地域である沿海部において銀行ファイナンスが民間セクターの成長を促進する傾向が強くみられることを示した。第二に、企業マイクロデータを用いた計量分析により、銀行融資を受けることが民間企業にとっては生産性・業績を好転させる効果を持つ一方、国有企業の特に収益性で計測した業績にはかえって負の影響を与えていたことが分かった。第三に、政治的コネクションの強さが銀行融資へのアクセスを強化するのは国有企業に限られ、民間企業にはそのような傾向は観察されないことが判明した。

研究成果の概要(英文)：First, econometric analysis using province and city-level panel data shows that bank finance is more able to promote private sector in coastal area with more developed economy. Second, econometric analysis using firm-level micro data finds that receiving more bank loans improves productivity and performance of private firms while it has negative impact on performance of state-owned firms. Third, it is suggested that stronger political connection enables state-owned firms to get access to more bank loans while similar observation cannot be obtained for private firms.

研究分野：経済学

キーワード：経済発展 開発金融 銀行 企業間信用

1. 研究開始当初の背景

中国の高度成長の謎の一つは、途上国における正規金融の主要部分である銀行ファイナンスが中国ではうまく機能していないにも関わらず達成された高度成長であることだとする Allen et al. (2005)の論争的なペーパーは、より新しいデータを用いて中国における銀行ファイナンスの効率性・メカニズムを明らかにしようとする研究の流れを作り出していた (Chang et al., 2010, Zhang, 2012, Firth et al., 2009)。それらは、近年中国における銀行ファイナンスの効率性が改善傾向にあるとしており、かつての「銀行ファイナンスが中国経済の資源配分を歪め成長の足枷となっている」という論調からの変化が目立っていた。申請者は、近年オルタナティブ金融としての中国企業間信用の実証分析に取り組んできており、銀行ファイナンスは常にその比較対象であった。そこで見出された成果の一つは、銀行ファイナンスの効率性の動向は先行研究が使用している単純な枠組みでは捉えきれず、より実態に即した分析フレームワークとデータによる分析が必要とされていた。

2. 研究の目的

今回の研究課題の研究目的は、中国における銀行ファイナンスの効率性が改善しつつあるのかを省別マクロレベルのみならず企業ミクロレベルからも厳密に検証し、もしそうならどのような銀行が効率性改善を主導しているのかを解明することにあつた。そのために、企業間信用等のオルタナティブ金融との比較を常に意識しつつ、中国における銀行ファイナンスの効率性を経済学ディシプリンに基づくマクロ・ミクロデータを用いた計量分析及び現地調査により分析・考察していくことを具体的な目標とした。

3. 研究の方法

本研究課題では、ミクロ・マクロデータを用いた計量分析及び現地企業からの聞き取り調査により研究目的の達成が図られた。

(1) 省および市レベルマクロデータによる計量分析

省および市レベルで集計された銀行融資・貯蓄等の銀行ファイナンスの発展度を測る変数と各省の経済成長変数を省・市レベルパネルデータセットとして用い、どのような地域で銀行による金融仲介が国有・民営各セクターそれぞれの成長を促進したのか・促進しなかったのかを考察する計量分析をおこなった。

(2) 現地聞き取り調査

省および市レベルマクロデータによる計量分析及び個別企業・銀行レベルミクロデータによる計量分析の初期時点での結果を基に、

現場レベルでの銀行融資と企業パフォーマンスの関係とそれを生み出すメカニズムを考察する第一歩として、中国現地での企業・銀行聞き取り調査をおこなった。調査設計段階からの設定により、融資先企業と融資元銀行をマッチングさせて双方への聞き取り調査をおこなった。銀行を対象とした調査においては融資審査と融資後各段階でのモニタリングの実態、企業調査においては銀行融資が直接・間接にどのような企業活動資金となっているかが調査事項の中心となった。また企業調査では比較参照点としての企業間信用等のオルタナティブ金融についても獲得した資金調達を可能にする条件及び使途という2大事項についての聞き取りがおこなわれた。

(3) 個別企業・銀行レベルミクロデータによる計量分析

マクロデータを用いた計量分析の結果及び現地聞き取り調査で得られた観察事実を背景に、研究目的の中心に迫る企業・銀行レベルミクロデータによる計量分析がおこなわれた。ここでは、第一に、銀行融資をより多く受けることが企業のパフォーマンスにどのような影響を与えるかの探求がおこなわれた。その際、国有・民営という企業所有種類の違いに注意が払われた。第二に、銀行融資を企業がより多く受けることができるための決定要因の探求がおこなわれた。その重要な候補として、政治的コネクションの強さ・過去の業績パフォーマンスが取り上げられた。ここでもまた企業の所有種類による相違に注目をした。また比較参照点として、企業間信用ファイナンスにおいても同様のミクロ計量分析をおこなった。

4. 研究成果

平成26～28年度期間に科学研究費補助金の交付を受けた当研究において、我々は以下のような研究実績を得ることができた。

第一に、省および市レベルの銀行融資・貯蓄等の銀行ファイナンスの発展度を測る変数と各省の経済成長変数を可能な限り長期の時系列を持つ省・市レベルパネルデータセットとしての整備をおこなった。そしてデータを使用した計量分析をおこない、どのような地域で銀行による金融仲介が国有・民営各セクターそれぞれの成長を促進したのか・促進しなかったのかをある程度マクロレベルで明らかにすることができた。経済的先進地域である沿海部において銀行ファイナンスが民営セクターの成長を促進する傾向が強くみられること分かった。

第二に、企業ミクロデータを用いた計量分析により興味深い結果が幾つか得られた。まず、銀行融資を受けることが民営企業にとっては生産性・業績を好転させる効果を持つ一方、国有企業の特に収益性で計測した業績にはかえって負の影響を与えていた。次に、比

較参照点としての企業間信用受信についても民間企業の生産性・業績への正の影響が観察され、国有企業のパフォーマンスへの影響は不明確であった。最後に、中国全土で過去に良好なパフォーマンスを示した民間企業は銀行融資アクセスやその融資額が大きくなるという結果が得られたが、過去の良好なパフォーマンスが民間企業の企業間信用受信を促進するという効果は経済的先進地である沿海部に限定されることも明らかになった。

第三に、ここまでの銀行ファイナンスの効率性・非効率性の発生メカニズムに関する本格的な検証仮説を理論的に提示し、その計量経済学的な検証をおこない、次のことを明らかにした。

1) 検証仮説として、銀行ファイナンスが効率的な資金仲介をおこなえる条件は、第一に融資プロセス・融資自体及びその総額の決定に政治的要素が介入せず(企業のレントシーク行動の抑制)、第二に融資の対象企業が銀行がその企業の経営状況・生産技術・取引相手とその状況を熟知している、密な関係をもった比較的少数の企業であること(informed bank finance)、を理論モデルの形式で提示した。

2) この仮説を、企業・銀行マイクロデータの双方を使用し検証したところ、次のような結果を得た。第一に、政治的コネクションの強さが銀行融資へのアクセスを強化するのは国有企業に限られ、民間企業にはそのような傾向は見られなかった。第二に、民間企業が銀行融資にアクセスするには過去の良好な業績パフォーマンスを必要条件としつつも、将来の好調な業績を予測できる要素を持っていることが銀行側に知られていることが融資総額の決定に大きく影響すること、及びこの後者の条件を満たす企業は比較的限定されている。これらの観察結果は概ね検証対象仮説を支持するものであり、このようなメカニズムに基づく銀行ファイナンスが中国において比較的少数の民間企業への融資においては良好に機能していることを示唆している。

3) また、比較参照点である企業間信用ファイナンスでは、政治的コネクションの強さのその受信への影響について、銀行ファイナンスと同じ国有・民間企業間の差が観察される一方、特に経済的先進地である沿海部で取引ネットワークを通じての企業間での情報の流通が、過去の良好な業績が多くの企業において企業間信用受信の増大に直結することが分かった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 6件)

[1] Go Yano and Maho Shiraishi (2014),

“Efficiency of Trade Credit and Bank Finances: An Ethnic Minority Area in China”, The Society for the Study of Emerging Markets (SSEM) EuroConference 2014: Detailed Program and Book of Abstracts, FIS1/4.

[2] Maho Shiraishi and Go Yano (2014), “An interpretation of planning economy era in China: Enterprises’ behavior”, The Society for the Study of Emerging Markets (SSEM) EuroConference 2014: Detailed Program and Book of Abstracts, ED1/4.

[3] Sun, Junfang and Go Yano (2015), “Finance and enterprise performance: Does ethnicity make a difference?”, *Hitotsubashi Journal of Economics*, December 2015, Vol. 56, No 2, pp.197-212
(<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/handle/10086/27595>).

[4] Yano, Go and Maho Shiraishi (2015), “Trade credit and ethnicity: Case of an ethnic minority area in China.”, *China Economic Review*, Vol 36, pp. 236-260 (DOI: 10.1016/j.chieco.2015.09.006).

[5] Yano, Go and Maho Shiraishi (2016), “Two Forms of Trade Credit Finance in China.”, *Comparative Economic Studies*, Vol 58 No.1, pp. 60-92 (DOI:10.1057/ces.2015.24).

[6] Xu, Gang and Go Yano (2016), “How does anti-corruption affect corporate

innovation? Evidence from recent anti-corruption efforts in China.", *Journal of Comparative Economics*, forthcoming
(DOI:10.1016/j.jce.2016.10.001).

〔学会発表〕(計 9 件)

- [1] Yano, Go "Efficiency of Trade Credit and Bank Finances: An Ethnic Minority Area in China", 2014 年 5 月 17 日, "Economic and Financial System Development in the Pacific-Rim Conference 3: Financial and Economic Links and Institutions for Prosperity" (米国・ハワイ州)
- [2] Yano, Go "Efficiency of Trade Credit and Bank Finances: An Ethnic Minority Area in China", 2014 年 11 月 29 日, アジア政経学会西日本大会(於京都大学)
- [3] Yano, Go "Efficiency of Trade Credit and Bank Finances: An Ethnic Minority Area in China", 2014 年 12 月 6 日, 人間発達の経済学第 7 回日中会議(於慶応義塾大学)
- [4] Yano, Go "Financing Investment in Physical and Intangible Capitals in China", 2015 年 6 月 25 日, The 1st World Congress of Comparative Economics (ローマ第三大学)
- [5] Yano, Go "Financing Investment in Physical and Intangible Capitals in China", 2015 年 9 月 7 日, The 6th Biennial International Conference on Transition and Economic Development (TED), Industrial Upgrading and Future Prospects of the Chinese Economy: Demographics, Financial Markets and Industrial Policies (復旦大学・上海市)

[6] 矢野剛 「日本の中国経済研究は世界の中国経済研究に貢献できるか?」, 2015 年 10 月 24 日, 日本現代中国学会第 65 回全国学術大会(於同志社大学)

[7] Yano, Go "Finance, institutions and innovation activities in China", 2016 年 9 月 9 日, "The 14th Biannual Conference of European Association for Comparative Economic Studies"(ドイツ・バイエルン州レーゲンスブルク大学)

[8] Yano, Go "Finance, institutions and innovation activities in China", 2016 年 11 月 5 日, "East Asian Economic Association's 15th Convention"(インドネシア・バンドン)

[9] Yano, Go "Finance, institutions and innovation activities in China", 2016 年 11 月 12 日, 比較経済体制学会秋期大会(於大阪経法大学)

〔図書〕(計 1 件)

矢野剛 『中国の企業間信用 - 経済発展とオルタナティブ金融 -』, 京都大学学術出版会 (2015 年 11 月刊) 247 ページ.

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

矢野 剛 (YANO, GO)
京都大学・大学院経済学研究科・教授
研究者番号：90314830

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者

(4) 研究協力者

()